

教育特区について考えよう!



総社市門田507
TEL: 090-4690-3318



<http://www.muraki-riei.com>
<https://www.facebook.com/rieimuraki/>

市内での教育格差は？定住促進政策は？

平成28年11月 定例会 市長答弁

『今のところ、全市での教育特区実施は考えていない』

しかし、中心市街地(教育特区外)の多くの市民の皆様が教育の不公平さを強く感じています。

総社幼稚園の保護者に向けて昭和小学校の宣伝をしているのはいかがなものか。市内で宣伝活動をしていても意味がないのでは。



常盤小学校・総社中央小学校などは1クラス35人前後だが、英語特区の学校は1学年10人以下。それだけでも教育の不公平さを感じているのに英語特区で更に感じている。



なぜ、総社市の税金を他市民のため(スクールバス費用など)に使わないといけないのか。



教育特区について
市民の皆様から
たくさんのご意見を
頂きました

総社幼稚園では、月に1回15分だけ英語の時間が設けられているが、先生都合で2・3か月に1回になることもある。英語特区との格差がありすぎる。



本当なら英語特区に子どもを通わせたいが、通学手段の問題など様々な制約があって市内中心部からは通わせられない。



久代幼稚園から英語特区の山田幼稚園に通う園児が増え、久代幼稚園の園児が減った。



オーストラリアへのホームステイで、昭和中学校だけでは定員不足で昭和小学校からも参加していた。それなら市中心部の学校の生徒にも参加を募ってもいいのではないか。そもそもそこまでしてホームステイを実施する必要があるのか。



学区外園児の保護者がPTA活動に参加できない。生徒だけが増えているから、学区内園児の保護者への負担が増えた。



総社市内の教育特区の現状

学区内 園児 生徒	通園・通学		移住						移住者 合計	全園児 生徒数	
	市内 より	市外 より	県外 より		県内市外 より		市内 より				
維新幼	10	7	2	(1)	0		1	(1)	3	(2)	20
山田幼	3	15	0		0		0		0		19
昭和小	81	29	0		4	(3)	1	(1)	5	(4)	122
維新小	18	1	0		2	(1)	1	(1)	3	(2)	23
昭和中	80	5	0		0		0		0		86
新本幼	17	0	1	(1)	0		0		1	(1)	18
新本小	53	4	1		0		0		1		58
池田幼	9	0	0		0		0		0		10
池田小	44	2	0		4	(2)	0		4	(2)	50
合計	315	63	4	(2)	10	(6)	3	(3)	17	(11)	406

単位：人（ ）は世帯数

平成28年11月25日現在

教育は平等でなければならないと思います。市内の一部だけで教育特区を実施するのではなく、全市で教育特区を実施するべきと考えます。そして、過疎地域に定住促進のための手助けを行う、という別々の施策が望ましいと、私は考えます。

村木理英の提案

教育特区

- 市内全ての幼稚園・小学校で実施
- 幼・小・中・高校の縦の連携を作る
- もっと特化したカリキュラムを組む

総社市の
子どもたちのための
教育を

定住促進

- 補助金制度
- 空家無料貸出制度
…など

市外からの移住者が
過疎地域を
選択しやすいよう
手助けする



教育特区と定住促進は切り離して考える必要があるのでは？